

(研究機関の名称：広島市立広島市民病院)

現在、当院 呼吸器外科で実施している研究へご協力をお願い

1. 研究課題名

有癭性膿胸に対する治療法の検討

2. 対象となる方

2018年4月から2024年3月に当院で急性膿胸に対する手術を受けられた患者さん

3. 研究の目的

急性膿胸の治療は、手術によって感染した胸水をできるだけ除去し、肺を拡張させる治療がよく行われます。しかし、肺に穴が空いている『気胸（ききょう）』を合併している場合には、しばしば治療に難渋します。これを有癭性膿胸（ゆうろうせいのうきょう）といいます。治療が難しい理由としては、空気漏れのために肺が肋骨と癒着せず、感染した空間が残存することにあります。

当院では多くの症例で搔把術を行って、強陰圧ドレナージにより癒着を計ります。その上で肺が福良生井場合は2度目の手術で広背筋（背中の筋肉）や大網（腹部臓器を多く脂肪の膜）などによって空気漏れを塞ぐ治療に臨みます。これらの患者さんのその後の経過を確認することは、今後の治療選択において重要な情報となりえると考えます。

4. 研究期間

2024年10月（倫理審査委員会承認後）～ 2025年12月31日（予定）

5. 研究に使用する試料・情報の種類

この研究に使用する情報として、カルテから以下の情報を抽出し使用させていただきます。また、あなたの情報などが漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。

- 1) 患者基本情報：病歴、年齢、性別、既往歴、身長、体重、喫煙歴
- 2) 術前血液検査、画像検査（CT及びエックス線写真）
- 3) 手術情報：術式、手術時間、出血量、周術期合併症、術後在院日数
- 4) 生存情報、再発の有無、再発後の治療

6. 研究組織

当院のみでの研究になります。

7. 研究責任者

広島市立広島市民病院呼吸器外科 主任部長 藤原 俊哉

8. お問い合わせ先

この研究は、広島市立広島市民病院倫理審査委員会の承認を得て実施しています。

この研究に使用する試料や情報は匿名化処理を行い、患者さんを特定できないようにしたうえで使用します。

また、患者さんを特定できないようにしたうえで、学会や論文で発表する予定です。

この研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。

また、試料・情報をこの研究に使用されることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒730-8518 広島市中区基町7番33号

電話 (082) 221-2291 (代表)

広島市立広島市民病院 呼吸器外科 牧 佑歩